



「消滅の可能性のある自治体問題」について  
「大川市の老朽施設の問題」について  
箴島かおる 議員

**問** 人口減により、自治体の維持が困難になる自治体に、大川市も含まれるとした発表が日本創成会議よりなされた。これから自治体間で、子育て世代の女性獲得競争になると思われるが、本市の対応は。

**答** 現在、大川市子ども・子育て会議を設置し、第二次大川市次世代育成支援行動計画並びに大川市子ども・子育て支援事業計画を策定しており、子育て支援の充実を図りたい。

また、現在新婚世帯の家賃補助と新築住宅の支援補助事業を行っている。予算は限られているが、予算をオーバーするような申請があることを期待している。

**問** 大川市の人口規模が5万人規模の時代に建設された本市の公共施設について、今後、全ての施設の維持・改修・建替えは困難になると思われる。市民サービスと財政の両立は難しい問題だが、建替え時期を迎えた本市の公共施設に、どのような方針で対処されるか。

**答** 現在は適正な補修等で施設の延命を行っているが、厳しい財政状況が続く中、公共施設の全体状況を把握し、総合的かつ長期的な観点から更新、統廃合、長寿命化などの計画を策定する必要があると思っている。



人口減少によるこれからの  
大川市のあり方について  
川野栄美子 議員

**問** 人口減少は本市でも進み30年後にはつづれる自治体の一つに入ると言われている。このため、まず交通の便を良くする方法を考える必要がある。大川を通り佐賀空港につながる物流新幹線の誘致に対する見解は。

**答** 物流新幹線の勉強会に参加しているが鳥栖駅と久留米駅のどちらを通るかである。鳥栖を通れば大川は通らない。久留米を通り、佐賀空港に行かれると大川を通るという話である。しかし、鳥栖の方を通るような話を聞いている。

**問** 本市は佐賀空港に近く、ブリヂストンのタイヤ工場をぜひ市長に企業誘致願えないか。

**答** 航空機用のタイヤの約9割以上を久留米工場でつくっている。あらゆる手だてを使い、大川への誘致の話をしたが厳しい。今後とも工場をつくっていただくように要望したい。

**問** 人口流出を抑制するためには、若者の能力を生かせる場が必要である。本市ならではの教育環境の整備に対する教育長の見解は。

**答** 我がふるさと大川に戻ってこようと思える魅力あるまちづくりに向け、市民、各社会教育団体と連携し、地域の力を高めるための、さまざまな学習機会の提供に努めたい。



政治と行政について  
(行政の取り組み姿勢について)  
(教育委員会の運営について)  
(行政と人材改革について)  
永島 守 議員

**問** 木工職人の手作り家具・匠の工房マップを作成し窓口を振興センターにしたかどうか。

**答** ご提案を参考に検討する。

**問** 教育委員会の運営について質問通告しているが、運営責任者である委員長の姿が見えない。私どもは「教育委員会の方針」の文言を、物心ついた頃より聞かされてきた。貴方は文科省福岡支社大川支店の店長であり、事務局長でもある。教育委員は貴方の諮問機関でも諮問委員でもない。ではその委員会の役割と権限とは何か。

**答** 毎月一回委員会の開催を教育委員長名で招集、合議制のもとで行っている。全般的運営は私が行っているが委員会の役割、権限の具体的内容はまだ勉強不足で解らなくて済みません。

**進言** 貴方は現職校長からの就任であり、現場教師との関係は立場を自覚し、線引きを行い、公私混同することなく職務遂行願いたい。

**問** 民間活力を導入し市長の人脈を通じ優秀な企業人材を借用又は中途採用したらどうか。

**答** 民間の優秀な人材の中途採用は、費用がかかる。財源不足、適材適所、費用対効果を考える事もひとつの手と思う。